

私立学業特待入試まであと一週間  
眠る時間以外は机に向かうよう受験生の指導を!!

開倫塾  
塾長 林 明夫

1. はじめに

私立高校学業特待までもう一週間となりました。現在、開倫塾の冬期講習会に参加している1500名余りの塾生にとってのはじめての入試となりますので、全校長・全講師は全力をあげての指導をこれから一週間お願い申し上げます。

2. 私立学業特待入試まであと一週間 - 眠る時間以外は机に向かうよう受験生の指導を!! -

(1) 眠る時間以外は机に向かうことが入試一週間前の受験生には求められますので、その旨、必ず塾生全員にお伝え下さいますようお願い申し上げます。

(2) 正月特訓の5日間は、一日も休まず全塾生が参加するよう全塾生にお伝え下さい。年末・年始は家には受験勉強に励むことが難しい塾生が多いので、5日間で3万円という格安料金で1日9時間も開倫塾で過ごし、特訓授業を受けて頂くものです。

朝9時から夕方6時まで開倫塾で過ごし、帰宅し夕食後、夜12時までもう5時間正月特訓の予習や復習をすることで万全の受験勉強ができるのが正月特訓です。これに加えて、朝6時過ぎに起床し、朝食前や開倫塾に行く前に2時間余り机に向かえば、これ以上ない受験勉強ができることも、全塾生に必ずお伝え下さい。

尚、冬期講習会では、その最終日に1時間の武者語りをすることが、全校長・全講師の義務事項となっておりますので、必ず行って下さい。

正月特訓の初日と最終日にも1時間の武者語りと、正月特訓中は1日3分以上の武者語りが全校長・全講師の義務事項となっております。何を語るか、予めメモを作成し、すべて暗記・リハーサルを繰り返してから完全な形での武者語りを期待申し上げます。

(3) 武者語りの中に含めるべき内容とは・・・ 何のために生きるのか、 仕事をするとは何のためか、 何を自分が死んだ後、後の世に遺りたいか(お金か、仕事・事業か、思想・著作・作品か、教育か、生き方か)、 何のために進学するのか、 進学した学校で何を学ぶのか、 この科目を学ぶ理由はなぜか、 受験勉強は社会に出て役に立つのか、 学校での勉強は社会に出て役に立つのか、 学力とは何か、 今社会から求められている能力とは何か、 どのように勉強したらよいのか、 理解するとは何か、 どのように理解したらよいのか、 定着

とは何か、どのように一度理解したことを定着させたらよいのか、定着のための三大練習とは何か、どうしたら偏差値を大幅に上げることができるのか、偏差値を上げた方がよい理由は何か、選択肢の多い人生とは何か、どのようにすれば人生における選択肢が増えるのか、⑲読書はなぜ必要か、⑳なぜ新聞を読んだ方がよいのか、㉑読書や新聞を読むことは学力向上と結びつくのか、㉒どのように本を読んだらよいのか、㉓家で新聞をとっていない場合どのようにしたらよいのか、㉔図書館はどのように活用したらよいのか、㉕これからの世の中はどのようなのか、㉖その中でどのように生きたらよいのか・・・

(4)武者語りすべき内容は山ほどあります。以上の問いに対する私の意見・考えは、開倫塾のホームページの中にある林明夫のコーナーで御覧下さい。書き抜き読書ノートもお役に立つと確信いたします。

(5)先生が執念と愛をもってこの塾生をどうにかしてあげようと接すれば、必ず全員合格は果たせます。どんなことをしても一人ひとりの行きたい学校「一流校」に合格させてあげるのだという執念と愛をもって、これからの一週間の御指導をお願い申し上げます。

(6)OECDのPISA調査の基底となる学力観である「キー・コンピテンシーズ」は、これからの社会で求められる能力をよく示しています。知識基盤社会で求められる「知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力」、グローバル化社会で求められる「多様な集団で交流する能力」も欠かせませんが、大不況下では、「自律的に行動する能力」が最も必要であると最近痛感されてなりません。

(7)この「キー・コンピテンシーズ」の前提となる「Learning To Learn ラーニング・トゥ・ラーン」(学び方を学ぶ能力・スキル)と「読書による思慮深さ」(新聞を読んで考える力・批判的思考能力)こそが最重要であります。

(8)開倫塾の4つの教育目標1つ1つを、この3つのキー・コンピテンシーズとその前提となる2つの能力と結びつけ、塾生に詳細に説明して頂くことも大切な武者語りであります。先生方のお力で立派な塾生をお育て頂きたく「熱望」いたします。

### 3. おわりに

本年も、全校長先生、全講師先生、全事務職員の皆様には大変お世話になりありがとうございました。心から感謝申し上げます。一年前に実弟を亡くしましたので、新年のご挨拶は失礼させていただきますので、ご了承賜りたくお願い申し上げます。よいお年をお迎え下さい。

感謝